

予約票

(web 予約票)

ご紹介いただきます患者様のお名前、予約日時を記載いただき、患者様にお渡しください

紹介患者 _____

予約日時 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時

診療科 放射線科

検査内容 造影CT

来院時間 予約日時の30分前

※下記事項について患者様にご説明下さるようお願いいたします

当日は、予約票（本状）、紹介状（診療情報提供書）、保険証、診察カード（本院に受診されたことがある方）、お薬手帳（お持ちの方）をご持参の上、紹介患者専用窓口までご来院下さい。

受診予約日からさかのぼって1週間以内に、ご本人またはご家族の発熱や風邪症状等があった場合には、事前に当院地域連携室へご連絡ください。

①番窓口「紹介患者専用窓口」へお越しください。

金沢市立病院の1階入口の左側にあります

金沢市立病院 地域連携室
〒921-8105 金沢市平和町3丁目7番3号
TEL 076-245-2626 FAX 076-245-2693

3. 検査開始前

・造影剤を使用する検査では、撮像する部位に関わらず食事や薬剤の制限があります。

※1：午前の検査では朝食を、午後の検査では昼食をとらないでください。

目安は検査開始の3時間前です。

※2：水分は取っていただいて問題ありません。

※3：ビグアナイド系糖尿病治療薬を服用中の方は、休薬をお願いします。

検査日の前後2日間（合計5日間）となります

（例：8月3日検査日→8月1日朝～8月5日夕まで休薬）。

ただし、主治医から特別な指示がある場合にはその限りではありません。

※注意：下記に該当する方は検査前にお申し出下さい。検査を中止させていただく場合があります。

- 心臓ペースメーカー
- 植え込み型除細動器(ICD・CRTD)
- 持続グルコース測定器(Free style リブレ)

4. 検査時

- ・緊急検査などにより検査時間が遅れる場合があります。ご了承ください。
- ・お洋服や身に着けているものに金具がある場合、検査前に着替え・取り外していただきます。
- ・きれいな画像を撮影するために、撮影をする部位によっては10秒前後の息止めをお願いします。
- ・検査時間は15～20分程度、撮影回数は3～5回です。
- ・検査の途中で、造影剤を静脈から注射します。

5. 検査終了後

- ・特に水分制限のない方は造影剤の排泄を促進するため、水分を多めにとって下さい。
- ・お薬はかかりつけ医による特別な指示がない限り、普段どおり服用して下さい。
- ・ビグアナイド系糖尿病治療薬を服用中の方は、検査2日後まで休薬して下さい。
- ・検査後や帰宅後にふらつき、蕁麻疹などを認めましたら遠慮なくご連絡下さい。
- ・金沢市立病院 076-245-2600。

●造影剤を用いたCT検査について

造影剤とは血管内に注入することで、病気の診断をより正確にするためのお薬で、ヨードが含まれています。主治医ならびに画像診断専門医の医師が必要性を判断したうえで造影剤を使用します。お薬は注入器を用いて肘もしくは腕の静脈から投与します。検査後、健康な方では約半日～2日程度でほぼ全量が腎臓から尿中に排泄されます。水分制限がなければ、検査後に水分を多めにとって排泄を促してください。

●造影剤の副作用・緊急時の対応について

造影剤はお薬であり、他のお薬と同様に副作用の危険性があります。どのような方に副作用が生じやすいか明らかとなっており、副作用の危険性が高いと判断された場合は、原則として造影剤を使用せずに検査を行います。また前回の造影検査で問題がなくても、今回の検査で副作用が生じる可能性があります。検査中は医療スタッフが常に観察しており、副作用に迅速な対応ができるよう環境を整えております。もし、不都合なことがありましたら、ためらわずすぐにお申し出ください。副作用には以下のような症状があります。

- ・軽い症状（頻度は60-100人につき1人）：吐き気、蕁麻疹、頭痛、かゆみ、発疹など
- ・重い症状（頻度は2.5万人につき1人）：呼吸困難、血圧低下、意識障害など
- ・極めて重篤な症状（頻度は20-40万人につき1人）：入院が必要となる副作用もしくは死亡例。
- ・遅発性型副作用：検査が終了してから数日以内に吐き気、蕁麻疹、かゆみ、めまいなどの症状が遅れて出現。

●以下の疾患の方は原則、造影剤を使用できません

- ・造影剤やヨードアレルギーがある場合
- ・重篤な心疾患や肝疾患、甲状腺機能障害
- ・腎機能障害・気管支喘息・多発性骨髄腫・褐色細胞腫・原発性マクログロブリン血症
(腎機能に関してはeGFR 45以上が必要です。検査日の3か月以内とします)

●特定の糖尿病治療薬（ビグアイド系）を服用している方

ごく稀に乳酸アシドーシスという重篤な副作用を生じる可能性があります。検査日の48時間前から、検査当日、検査の48時間後まで服用中止となります（合計5日間）。緊急時には主治医による判断で実施することがあります。

●造影検査に伴う合併症について(副作用以外)

- ・造影剤を注射すると数十秒後に体が熱く感じるがありますが、すぐに治まります。
- ・注入する部位（肘もしくは腕）の血管外に造影剤が漏れることがあります。基本的には時間が立てば吸収されますが、痛みや周囲組織に障害を与えてしまうことがあります。